

学生各位

福岡教育大学
副学長(学生指導担当)
甲斐 純子

新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る諸活動の実施について(注意喚起・要請)

新型コロナウイルス感染症について、感染者・重症者の増加が全国的に著しく「第3波」と呼ばれる状況です。福岡県でも12月12日付けで「福岡コロナ警報」が再発動され、感染拡大防止・感染予防対策の徹底が呼びかけられています。本学は教員養成大学であり、学生の皆さんの大多数は、将来教員として「子どもの健康を守る立場」となります。そうした意味でも、本学関係者は感染拡大防止・感染予防対策について、意識を高くもって慎重に諸活動を進めることが求められます。

昨今の特徴としては、会食場面での感染、家庭を含む共同生活における感染の増加などがあげられます。特に飲酒を伴う会食でのリスクが大きく、下記に示すような「感染リスクが高まる5つの場面」が指摘されています。こうした状況にかんがみ、年末年始を迎えるこの期には特に慎重な行動をとり、「5つの場面」における注意の徹底を始め、高い意識で各自の行動を律してください。

記

1. 密閉空間、密集場所、密接場所の「3つの密」が発生しないように、以下の「感染リスクが高まる5つの場面」をできるだけ回避するとともに注意を徹底する。

- | | |
|------------|---|
| 場面1 | : 飲酒を伴う懇親会等 … 飲酒により注意力が低下する。 |
| 場面2 | : 大人数や長時間におよぶ会食 … 大声になり飛沫感染のリスクが高まる |
| 場面3 | : マスク無しでの会話 … 飛沫感染のリスクが高まる。特にバス車中、カラオケなど。 |
| 場面4 | : 狭い空間での共同生活 … 寮の部屋やトイレなどの共用部分で感染事例がある。 |
| 場面5 | : 居場所の切り替わり … 更衣室など、居場所が替わることで気の緩みが起こる。 |

2. 年末年始の行動について、感染リスクの低減を図る。

感染拡大地域への移動の自粛、帰省等の移動時の「3つの密回避」「マスク着用」「手洗い励行」の着実な実施、長時間・大人数での会食・飲酒の自粛等、「感染をしない・させない」ための慎重な行動をお願いします。国の新型コロナ対策分科会でも「静かに年末年始を過ごす」ことが提言されています。

3. 感染した場合はもちろん、発熱が続くなどの体調不良時は、大学に連絡・届け出を行う。

連絡・届け出の専用メール<corona2020@fukuoka-edu.ac.jp>を開設しています。詳細は、ホームページやポータルに掲示していますので、この内容に従って確実に連絡・相談をしてください。

※ 上記の注意喚起・要請の内容については、今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によって、変更することがあります。

【参考 Web ページ】感染リスクが高まる「5つの場面」～年末年始特設サイト～

<https://corona.go.jp/proposal/>